

ウイルス対策ソフト「Sophos」のアンインストール（WindowsOS）

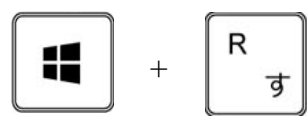
はじめに
本書は、ウイルス対策ソフト「Sophos」アンインストールについての説明です。
本書の説明に用いている各種画像は、2022年10月7日に取得したものです。※
※画面ショットと実際の操作画面が異なる場合があります。

=ウイルス対策ソフトの新規提供サービス終了について=

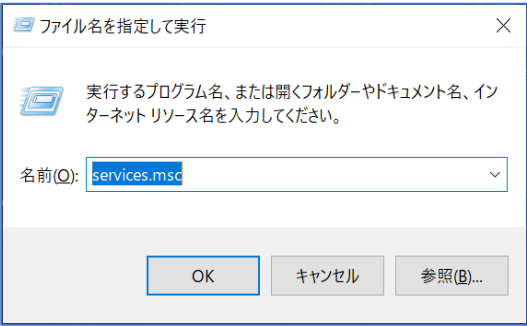
ウイルス対策ソフト「Sophos Anti-Virus」の新規提供サービスを**2023年2月28日（火）**に終了します。
サービス終了までに、本書に従いアンインストールしOS標準のウイルス対策機能（WindowsOSであればDefender、macOSであればXprotect等）を有効化して下さい。

1. 自動アップデートの停止

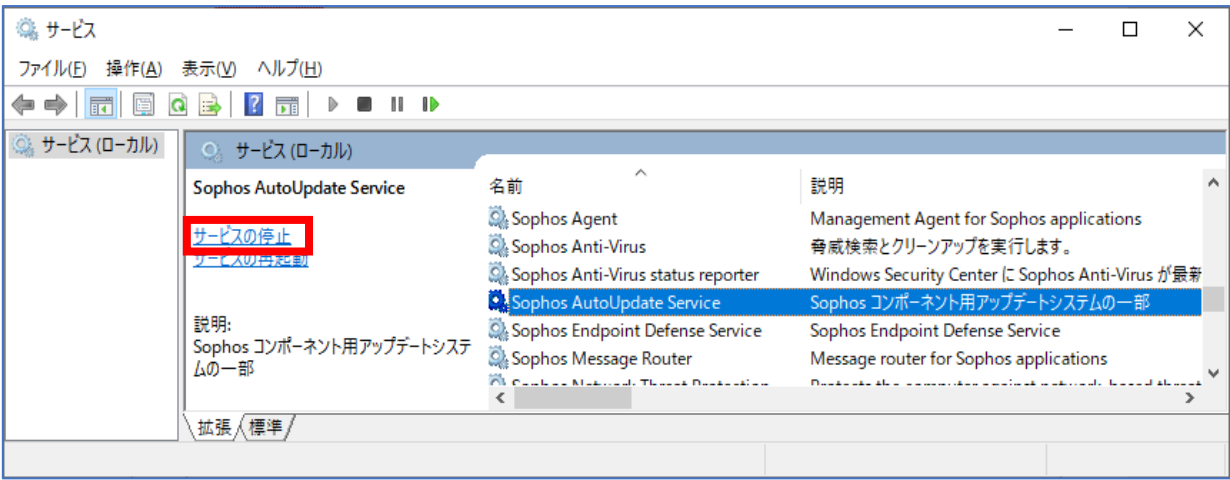
（１） Windows+Rキーをクリックして「ファイル名を指定して実行」を開きます。



（２） 「services.msc」と入力して、「OK」をクリックします。

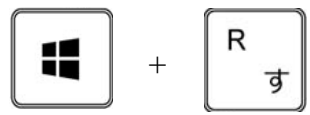


（３） Sophos AutoUpdate Service を選択し、「サービスの停止」をクリックします。

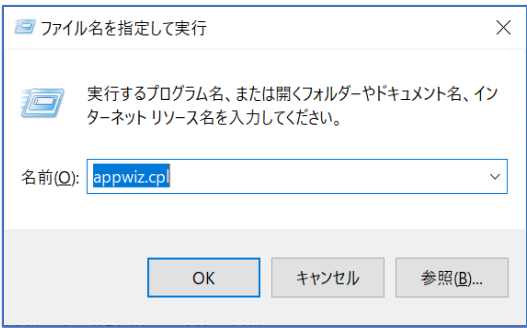


※ アンインストールの前に、webブラウザ以外のアプリ等を全て終了して下さい。【別紙1】を参照して下さい。

(1) Windows+Rキーをクリックして「ファイル名を指定して実行」を開きます。



(2) 「appwiz.cpl」と入力して、「OK」をクリックします。

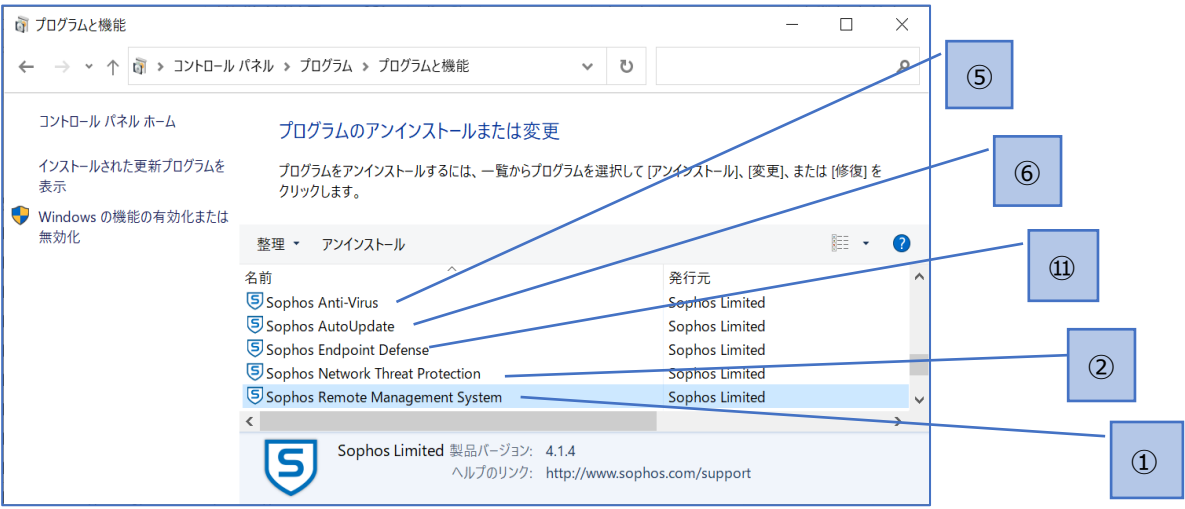


(3) 次のプログラムを下記の順序に従いアンインストールします。(無いものに関しては次へスキップ)

※必ず順番通りにアンインストールして下さい

①	Sophos Remote Management System
②	Sophos Network Threat Protection
③	Sophos Client Firewall
④	Sophos System Protection
⑤	Sophos Anti-Virus
⑥	Sophos AutoUpdate
⑦	Sophos Diagnostic Utility
⑧	Sophos Exploit Prevention または Sophos CryptoGuard (サーバー上)
⑨	Sophos Clean
⑩	Sophos Patch Agent または Sophos Agent
⑪	Sophos Endpoint Defense

アンインストールは、対象プログラムを選択し、「アンインストール」をクリックします。



←図の表記の場合
アンインストールの順序は
①,②,⑤,⑥,⑪の順になります。

(4) PCを再起動し、後述の3.「OS標準のウイルス対策機能の有効化について」を参考にOS標準のウイルス対策ソフトを有効化して下さい。

<はじめに>

本資料は、OSベンダが提供のウイルス対策ソフトの設定手順を収集したものです。
OSベンダの都合で名称並びに構成及び内容が更新される場合があります。本資料はそのような背景もあり最新の情報で皆様に確認いただけるよう配慮したものととなります。

<ウイルス対策機能の有効化>

1. Microsoft Windows OS（Windows10以降）

次の手順（１）（２）を実施することで、Windows OS標準のウイルス対策ソフト「Defender」が有効化されます。

- （１）リアルタイム保護とクラウドによる保護を有効にする
- （２）ウイルス対策の定義を更新する

下記のURLを参照にして下さい。

[Microsoft Defender ウィルス対策を有効にする | Microsoft Learn](#)

・「Windowsセキュリティ処置をお勧めします」が表示される場合の対応

後述の【別紙2】「「セキュリティの処置をお勧めします」の表示解消について」を参考としてください。